



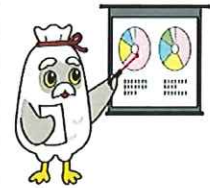
# シルバー安全のり



第41号 (令和6年9月)  
諫早市シルバー  
人材センター  
安全対策委員会

## 4月～8月期 傷害事故多発

傷害事故発生件数 (4月～8月)			
種別	6年度	5年度	増減
蜂、虫さされ	3	2	1件増
転落、転倒	2	1	1件増
切れ	1	1	0
途上中	0	0	0
その他	1	1	0
計	7	5	2件増 ← 前年比約1.5倍



傷害事故保険申請件数 (4月～8月)			
種別	6年度	5年度	増減
蜂、虫さされ	2	0	2件増 ← 毛虫刺されによる増
転落、転倒	2	1	1件増
切れ	0	1	1件減
途上中	0	0	0
その他	1	0	1件増
計	5	2	3件増 ← 前年比約2.5倍



5年度は、賠償事故が多発しましたが、  
6年度は「傷害事故」が多発しています！！



## 『 熟練者 慣れの動きが 赤信号 』

梅雨時期が終わりを告げると、報道などでも話題になっていた通り、今年も昨年以上の【猛暑】で、35度を超える気温となりました。

諫早地方は、夏は長崎市よりも2~3度気温が高く、冬は逆に2~3度低くなる土地柄だと設立間もない頃に会員さんから聞いたことがあります。毎年「猛暑」「酷暑」と報道されますが、年々気温が上昇しています。会員さんとも、「昔は、こが~んぬくうなかつた~」との会話が定番化しています。確かに諫早のセンターが設立された昭和61年頃を思い出すと、確かに夏は暑かったですが、それでも30度を少し超えた気温ではなかったかと思い出します。

現在では、気温37度38度と言う言葉に慣れてしまっているような感じがします。

そこで、毎年夏が訪れると一番心配なのが「**熱中症**」です。

熱中症については、以前から体験談をもとにその怖さを会員さんに伝えてきました。（若年者でも体力が戻るのには最低でも3~4年要します）暑さのピークは過ぎたようですが、一年一年気温の上昇するのは确实だと思えますので、私たちシルバー人材センターでの就業(活動)についても、夏の猛暑をどう対応するかが直近の課題だと思われるます。

（県内でも8月の就業(屋外作業)を中止しているセンターもあります）

諫早市シルバー人材センターでは、4月から8月までの4か月ではありますが、**前年度同期間と比較しても「傷害事故」が多発**しています。

十数年の傾向を振り返っても、「**転倒**」による骨折・ひびで入通院を必要とするケガが後を絶ちません。

骨折により入院を要したり、退院後もリハビリなど完治まで数か月を要する傷害事故となっています。

これまでの受傷を例にしながら、何をするにもまずは「足元から」と注意喚起してきました。（歩くにも足元、脚立の上り下りも足元など）

これからも、会員の皆さんへ「熱中症」への注意喚起も必要ですが、足元にも特に注意をしていただき「**安全就業 事故ゼロ**」を目標に日々の「**安全就業**」にご協力くださいますようお願いいたします。